

報道関係者各位

2019年1月9日

株式会社 ゼネラル・オイスター

正月太りでも安心して食べられる？！低カロリーなのに美肌効果  
**旬真っ只中！全国の生牡蠣が半額！ 1/11～1/22 終日開催**  
ゼネラル・オイスター グループ 全国 25 店舗実施

日本最大級<sup>※1</sup>のオイスター バーチェーンである株式会社ゼネラル・オイスター（本社：東京都中央区、代表取締役社長 吉田秀則／代表取締役 CEO 丹野裕介、以下「ゼネラル・オイスター」）は、1月11日（金）～1月22日（火）の12日間、25店舗限定で、「POWER OYSTER フェア」と題し、真牡蠣を全品半額でご提供いたします。※1 富士経済「外食産業マーケティング便覧 2016」より

**【真牡蠣はシーズン真っ只中】**

真牡蠣のトップシーズンに突入し全国の産地より、真牡蠣が出揃っています。北は北海道から南は長崎まで。日本全国の銘産地の真牡蠣の食べ比べを存分にお楽しみください。

＜ご提供予定産地一例＞

北海道サロマ湖産、岩手県赤崎産、宮城県松島産、宮城県野々島産、三重県的矢産、三重県浦村産、三重県桃取産、兵庫県室津産、兵庫県相生産、兵庫県坂越産、香川県白方産、広島県安芸津産、広島県情島産、福岡県糸島産、福岡県門司産、佐賀県唐津産、大分県守江産、長崎県五島列島産、長崎県小長井、熊本県鏡オイスターなど

※入荷状況、店舗によりご提供の産地は異なります。売り切れの場合もございます。

**【低カロリーだからたくさん食べても安心！しかも美肌・美髪効果も】**

牡蠣は1個約24カロリー<sup>※2</sup>の低カロリーで低糖質な食材で、ダイエット中でも安心して食べられます。約2～3個で1日の亜鉛所要量を補えるほど亜鉛が多く含まれており、肌と体の代謝アップを助ける働きがあります。また、亜鉛とビタミンCはコラーゲンの合成にかかわります。特に亜鉛たっぷりの生牡蠣×ビタミンC豊富なレモンの食べ合わせは相乗効果で美肌効果が増すのでおすすめです。肌や髪の毛を健康に保ち、美しい肌や髪を作ることにも役立ちます。※2 剥き身40g換算（監修：一般社団法人 NS Labo）

**【生牡蠣の安全性はお墨付き】**

ゼネラル・オイスター グループでご提供する生牡蠣はすべて、2017年11月に特許を取得した独自技術で、富山県入善町に有する自社の牡蠣浄化センターで海洋深層水を用いて60時間浄化、行政の基準よりも厳しい自社基準での安全管理を行っております。「POWER OYSTER フェア」期間中も、もちろん通常と同じスペックの安全な生牡蠣のみをご提供しておりますので、安心してたっぷりとお楽しみください。



■開催日時:2019年1月11日(金)~1月22日(火)の12日間限定 終日開催

※入荷状況や産地の天候などにより、予告無く終了する場合がございます。

■価格:旬の真牡蠣 全品半額 1ピース 249円(税別)~

【開催店舗】ゼネラル・オイスター グループ 25 店舗限定

<東京都>

エミットフィッシュバー GINZASIX

ガンボ&オイスター バー 新宿ルミネエスト店

ガンボ&オイスター バー 池袋東口店

ガンボ&オイスター バー 二子玉川ライズ店

オイスター テーブル 銀座コリドー店

オイスター テーブル 上野さくらテラス店

オイスター テーブル 浜松町店

カーブ・ド・オイスター 東京駅八重洲地下街店

フィッシュ&オイスター バー 西武渋谷店

シュリンプ&オイスター ハウス 西武池袋店

キンカウーカ 小田急新宿店

<神奈川県>

オイスター プレート ラゾーナ川崎店

ガンボ&オイスター バー 横浜そごう店

シュリンプ&オイスター バー 横浜モアーズ店

キンカウーカ 横浜ベイクォーター店

<千葉県>

ガンボ&オイスター バー 千葉そごう店

<茨城県>

ガンボ&オイスター バー 水戸京成店

<宮城県>

仙台ステーションオイスター バー エスパル仙台店

<愛知県>

オイスター ルーム 名古屋ラシック店

<大阪府>

ガンボ&オイスター バー 梅田NU茶屋町店

ガンボ&オイスター バー なんばパークス店

ウメダステーションオイスター バー 阪急グランドビル店

オイスター ルーム 梅田ハービスエント店

<兵庫県>

ガンボ&オイスター バー ミント神戸店

<福岡県>

フィッシュ&オイスター バー キャナルグランド プラザ店

【すべての生牡蠣は特許技術で浄化した、安心品質 5つ星】

ゼネラル・オイスターでご提供する生牡蠣は、日本にオイスター バー 文化を拡げてきた当社が創業 17 年目にじてたどり着いた究極の安全品質の生牡蠣です。

2017年11月、2014年夏より富山県・入善町でスタートした牡蠣を海洋深層水で浄化する方法について独自性が認められ、特許を取得しました。(特許番号第 6240037 号)

## 1) 海域の厳選

全国の海域リスクを考慮し、産地の厳選および入荷時期の精査を実施します。

## 2) 産地の厳選(産地一次検査)

厚生労働省が定める生食用カキの規格基準をクリアした牡蠣のみ入荷します。

## 3) 海洋深層水での浄化時間を 60 時間へ延長

人体に害を与える細菌やウィルスが存在しないきれいな海洋深層水のかけ流し水槽で、60時間牡蠣を浄化することで、より安全性の高い牡蠣になります。

## 4) 厳しい自社基準の堅守

厚生労働省が定める規格基準よりはるかに厳しい自社基準をクリアした生牡蠣のみを出荷しています。「ノロウィルスについては検出されない」との自社基準も定めています。

## 5) 徹底された店舗衛生管理

ご家族を含む従業員の体調管理・サポート実施、また社内衛生チェックおよび外部衛生調査機関による定期的衛生調査による衛生の維持、向上に取り組んでいます。

### 【ゼネラル・オイスターが安全性の追求に取り組む理由】

#### <ゼネラル・オイスター18年の歴史は、ノロウィルスとの闘いの歴史でもあるから>

ゼネラル・オイスターは本年、創業18年目を迎えます。2001年に一号店を出店して以来、日本に「オイスターバー」市場を創造するべく出店を続けてまいりました。2015年3月には東証マザーズ市場への上場をし、レストラン事業のみならず養殖や加工事業も展開し、牡蠣ビジネスの六次産業化の推進に取り組んでいます。

#### <2006年冬 ノロウィルスの大流行、自社の浄化センターを設立>

創業以来、順調に出店を続けていた2006年の冬、ノロウィルスが大流行し「牡蠣の安全面への不安」により、お客様が激減し倒産寸前の危機を迎えました。ゼネラル・オイスターはそれを機に「牡蠣の安全性」を再度見直すべく、それまで産地任せであった牡蠣の浄化を自らの手で行うことを決め、2007年9月広島県呉市倉橋島に牡蠣の浄化センター「日本かきセンター」<sup>※2</sup>を設立し、全国の産地より集めた牡蠣を一旦センターへ集め、紫外線殺菌した海水で48時間牡蠣を浄化し、全国の店舗へ出荷する体制を構築いたしました。その結果、牡蠣の安全性が向上しお客様の信頼も回復してV字回復をとげました。<sup>※2016年10月に富山・入善へ統合</sup>

#### <2014年夏 浄化方法のさらなる進化、海洋深層水での浄化をスタート>

2014年夏、日本海に面する富山県入善町に牡蠣の浄化センターを新たに設立し、世界で初めて海洋深層水で牡蠣を浄化するシステムを構築しました。海洋深層水の「清浄性」と自然の力を最大限に活かし牡蠣の浄化をおこなっており、また、かけ流して浄化することで、よりきれいな環境を維持しています。

#### <2016年冬 ノロウィルス大流行が再び、さらなる安全性を求めて>

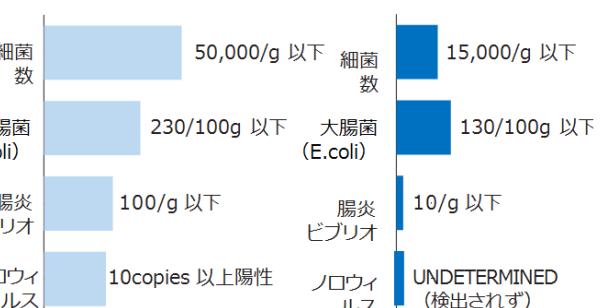
2016年冬、ゼネラル・オイスター史上2度目のノロウィルス大流行が訪れます。宮城県の全海域の牡蠣出荷停止などもあり、市場ならばにお客様へ不安が広がりオイスターバーもあおりを受けました。ゼネラル・オイスターは終わりのない牡蠣の安全性の追求とお客様へのさらなる安心のため、「安全品質のファイブスター」を2017年2月よりスタートいたしました。

#### <2017年11月 海洋深層水浄化方法の特許取得>

2014年夏より特許を出願していた、海洋深層水による牡蠣の浄化方法がこの度、特許を取得しました(特許第6240037号)。一般的な牡蠣の浄化方法(紫外線殺菌)に比べて、安全性が高く、栄養価に優れかつ鮮度が保持された高品質の牡蠣を提供できることが見いだされました。

今後も、安全な牡蠣を安心してお楽しみいただけるようゼネラル・オイスターグループ一丸となって努めてまいります。

## 厚生労働省の規格基準 弊社の安全基準



厚生労働省が定めた食品衛生法規格基準「生食用牡蠣規格基準」より

**【ゼネラル・オイスターについて】**

株式会社ゼネラル・オイスターは 2000 年に株式会社ヒューマンウェブとして創業し、2015 年 3 月 19 日東証マザーズ市場へ上場しました。2016 年 4 月 1 日より、現社名へ商号変更し持株会社体制へ移行しました。

社 名 : 株式会社ゼネラル・オイスター

代 表 者 : 代表取締役社長 吉田秀則／代表取締役 CEO 丹野裕介

所 在 地 : 東京都中央区日本橋茅場町 2 丁目 13 番 13 号 共同ビル 7 階

設立 : 2000 年 4 月 3 日

URL : <http://www.oysterbar.co.jp/>

<本件に関するお問い合わせ先> 株式会社ゼネラル・オイスター 広報 高瀬

携帯:090-1202-6488／TEL:03-6667-6606/FAX:03-6667-6607/E-mail:press@g-oyster.com